

# 鹿児島地本だより

第45号  
(令和4年夏号)

発行元

自衛隊  
鹿児島地方協力本部

印刷所

南日本出版株式会社

## 本部長ご挨拶

### 自衛隊鹿児島地方協力本部長 1等海佐 稲崎 精一郎



この度、令和4年3月28日付で、第10代(地方連絡部長を含めると第36代)自衛隊鹿児島地方協力本部長に就任した稲崎です。

私自身、鹿児島の地において勤務するのは平成8年に初めて部隊勤務で赴任した第7航空隊(鹿屋市)での勤務以来、2度目となります。第7航空隊では、忙しくも大変充実した日々を送り、私にとりましては、鹿児島は非常に思い出深い場所ですが、当時は薩摩半島にほとんど足を踏み入れたことがなく心残りと思っております。この度、離島も含め、鹿児島県各地を訪問する機会のある鹿児島地方協力本部長として勤務することができ、大変うれしく感じるとともに自身の双肩にかかる重責に身の引き締まる思いであります。

さて、防衛協会、家族会、隊友会、地本後援会、就職援護協会などの各協力団体及び企業主、募集相談員などの皆様におかれましては、平素から防衛省・自衛隊の活動並びに鹿児島地方協力本部の業務に対しまして、深いご理解と絶大なご支援を賜っておりますが、皆様のご協力ももちまして、令和3年度も募集、就職援護、予備自衛官等の多くの分野で

目標を達成することができました。鹿児島地方協力本部を代表して厚く御礼申し上げます。

では、令和4年度の鹿児島地方協力本部の業務はどうなるかと、取り巻く環境を見通しますと、決して楽観的とは言えず、むしろ厳しいと認識せざるを得ない状況であります。募集環境としては、これまで類を見ない少子化、地元志向の学生の増加等、就職援護環境においては、国際情勢の不安定化による経済活動への悪影響などが考えられます。また、新型コロナウイルス感染症については、ワクチン接種は進んでいるものの、終息の兆しが見えないため、本年度も、各種制約を受けての業務継続となります。さらに、ロシアによるウクライナ侵攻がもたらす募集への影響は計り知れない状況です。

このような状況ではございますが、鹿児島地方協力本部は「地域の皆様と防衛省・自衛隊の架け橋」として、また、あらゆる事態に対応し、皆様の生命と財産を守るため「精強な自衛隊の維持」を目標に掲げ、部員一丸となつて職務を遂行してまいりますので、今後とも変わらぬご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。



### 副本部長 福山 和彦

はじめまして、この度4月1日付で鹿児島地方協力本部副本部長を拝命致しました福山と申します。コロナ禍が始まり、すでに3年目となりましたが、一向に終息の兆しが見えてこない状況であります。これまで以上に感染対策を万全とし、できることを最大限に活用しながら、各種自衛官の募集、援護広報等の諸活動に邁進して参る所存です。

鹿児島地方協力本部は、鹿児島県民の皆様と防衛省・自衛隊との懸け橋となるべく、部員一丸となつて各種活動を続けて参りますので、皆様方のご理解、ご協力を賜りますとともに、変わらぬご支援、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

## 令和3年度 優秀募集 相談員表彰

自衛隊鹿児島地方協力本部が行う自衛官等募集活動への協力及び志願者に関する募集対象者情報の提供を目的として、募集事務所等ごとに各自治体と連名で募集相談員を委嘱させていた、だいていところですが、令和3年度活動実績に対し、各募集事務所等ごとの優秀募集相談員表彰の被表彰者が決まりましたので、ご紹介させていただきます。

(敬称略)

### 【最優秀募集相談員】

奄美大島駐在員事務所推薦 與島 重光

### 【優秀相談員】

薩摩川内出張所推薦 牛鼻 健彦

鹿屋地域事務所推薦 矢野 廣志

国分地域事務所推薦 紫村 敬二

大隅地域事務所推薦 田浦 天志

知覧分駐所推薦 山下 ルミ子

鹿児島募集案内所推薦 國本 かよ子

種子島駐在員事務所推薦 坂口 純徳

徳之島駐在員事務所推薦 平田 英助

大隅地域事務所推薦 岡留 優

なお、被表彰者については、別途、感謝状贈呈を行います。

※「鹿児島地本」は「自衛隊鹿児島地方協力本部」の略称です。



予備2等陸曹 益智美さんが、令和3年度西部方面隊優秀隊員として顕彰され、令和4年3月22日(火)、鹿児島地方協力本部長から顕彰盾の伝達を受けました。

益さんは、平成22年に予備自衛官補(技能)として採用され、10日間の教育訓練終了後、予備自衛官に任用されました。令和2年7月豪雨では、予備自衛官として熊本県人吉市での災害派遣に6日間従事する等、普段は看護師として勤務しながら予備自衛官としても活躍されています。

なお、鹿児島地本の予備自衛官からは、昨年に引き続き2年連続の受賞となりました。



援護課  
予備自衛官  
令和3年度西部方面隊優秀隊員として  
予備2等陸曹 益智美さんを顕彰

自衛隊鹿児島地方協力本部(本部長 稲崎 精一郎 1等海佐)は、4月25日(月)、「令和4年度募集・援護出陣式」を挙行した。

本出陣式の目的は、令和4年度の募集・援護及び予備自衛官等業務のスタートに当たり、地本としての任務達成、各種目標の達成及び1年を通じての安全を祈願するとともに、部員全員の士気の高揚及び団結の強化を図るためであり、出陣式に際し、自衛隊鹿児島地方協力本部後援会会長 谷川洋造様、同副会長 伊藤正夫様及び宮口修一様のご臨席を賜り、過分なるご祝辞を頂戴して、部員一同、更に身を引き締めた。

本部長は式辞で、「自衛隊鹿児島地方協力本部は、自衛隊を支える良質な隊員を獲得、優良な就職援護先を獲得することにより、国民の負託に応えることが求められている。任務達成に欠かすことができない方々のご支援・ご協力を賜りながら、各種業務に取り組む所存であり、部員一人一人が任務達成のために何をすべきかを考えながら業務に取り組んでもらいたい。」と訓示した。

最後に令和4年度の募集・援護の目標達成を祈願して恒例のダルマの目入れを行い、部員全員が令和4年度の目標達成に向けて、決意を新たにした。



募集課  
令和4年度募集・援護出陣式

令和4年4月27日自衛隊鹿児島地方協力本部において、新規及び委嘱期間延長を含めた9名の方々に「自衛隊鹿児島地方協力本部モニター委嘱式」を執り行った。

鹿児島地方協力本部は、「昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、イベントが開催できず、モニターの方々の活動も低調となりましたが、今年度は、モニターの方々から、今後の自衛隊の活動に反映できる貴重な意見を多数いただけるよう各種行事に係る企画・調整を進めていきたい。」としている。



委嘱式記念撮影

募集課  
自衛隊鹿児島地方協力本部  
モニター委嘱式

予備自衛官補から予備自衛官に任用された予備陸士長 鶴田恭久さんと予備陸士長 岩元みささんの2名が、即応予備自衛官になるための36日間の厳しい訓練を見事に完遂しました。これにより、令和4年3月、鹿児島県としては、初となる自衛官未経験の即応予備自衛官が誕生しました。

なお、この模様は令和4年2月19日の南日本新聞でも紹介されました。



令和4年2月に実施された訓練(35km行軍)に参加した鶴田さんと岩元さん

援護課  
予備自衛官  
鹿児島県初、予備自衛官補から  
即応予備自衛官へ

自衛隊鹿児島地方協力本部は、学校教育への協力(育てる広報)の一環として、令和4年5月18日から20日までの3日間、鹿児島市立河頭中学校の依頼を受け、同中学校生徒2名に対して(男子1、女子1)地本職場体験学習を初めて実施した。

3日間のカリキュラムとして、当初、防衛の必要性、日本の安全保障環境、自衛隊の取り組み、大規模災害への対処及び鹿児島地方協力本部の役割について説明した。将来、自衛官を志望している2名の生徒は、真剣な表情で説明を受けた後、自衛隊に関する質問を積極的にしていた。

引き続き「SNSを活用した募集活動」をテーマとした、広報班のTwitter会議に参加し、募集対象世代のSNSに対する率直な意見交換等を行った。

また、本部長との懇談の際には、防衛大学の概要、幹部候補生時代の遠洋航海で各国を巡った経験談など、貴重な話に興味津々な様子であった。

体験的な学習についても取り組み、市街地広報の際に使用する広報グッズのデザイン作成など、自衛官募集に関する業務の一端を体験させ学校教育に寄与することができた。

鹿児島地方協力本部は、「今後も学校教育に積極的に協力するとともに、育てる広報を通じて、募集対象者に自衛隊への理解を深めてもらい、募集活動に繋げていきたい。」としている。



本部長との懇談



市街地広報体験

募集課  
河頭中学校職場体験学習

自衛隊鹿児島地方協力本部援護課は、令和4年3月10日(木)、鹿児島労働局、鹿児島公共職業安定所及び自衛隊援護協会福岡支部の参加、協力を得て、令和3年度自衛隊退職予定隊員就職連絡会議を実施しました。

本会議は、参加機関相互の情報交換を通じて、協力関係の強化を図り、自衛隊退職予定隊員の雇用について、円滑な就職援護業務を推進することを目的としています。

会議では、各機関から現在の雇用情勢の現況及び令和4年度の雇用情勢の見積、九州・沖縄の退職自衛官の就職援護状況などの説明があり、相互に認識を深めました。また、鹿児島地本からは、令和3年度の就職援護実績、令和4年度の就職援護見積及び自衛官の募集業務について説明を実施し、地本の募集・援護活動への協力を依頼した。

質疑応答では、コロナ禍における労働事情、失業状況及び雇用環境等に関して活発な意見交換が行われ、令和4年度も決して楽観視できない雇用情勢であるとの認識を共有し、相互の協力関係の強化を図りました。

鹿児島地本は、今後の厳しい雇用環境においても、隊員の後顧の憂いを払拭するとともに、鹿児島県下の雇用関係機関との良好な関係を維持し、就職援護業務の着実な実施に向け決意を新たにしました。



連絡会議の様子(庁舎2階会議室)

援護課  
援護企画班  
自衛隊退職予定隊員就職連絡会議







# 令和4年度 鹿児島地本広報大使



鹿児島フリータレント  
**山口ひかり**



がんばるあなたの応援団!  
**じゃんけんマン**



鹿児島のヒーロー  
**薩摩剣士隼人**



走る冒険家  
**岩元 みさ**

## 人事往来

### 【転出者】

#### 自衛官

1等海佐 赤岩 英明  
第1航空群司令部首席幕僚(本部長)

3等海佐 上堀内 祐貴  
第1航空隊(鹿屋地域事務所長)

1等陸尉 石橋 健  
東北方面航空隊(募集課)

陸曹長 黒川 洋一  
都城駐屯地業務隊(総務課)

海曹長 長野 誠  
鹿児島音響測定所(募集課)

1等陸曹 中野 国治  
第15施設中隊(募集課)

1等陸曹 平田 成人  
第12普通科連隊(国分地域事務所)

1等陸曹 安永 和洋  
情報本部(薩摩川内出張所)

1等陸曹 濱上 洋海  
第12普通科連隊(川内駐屯地援護センター)

2等陸曹 松村 忍  
宮古警備隊(総務課)

2等空曹 横江 大典  
飛行教育航空隊(薩摩川内出張所)

【事務官】  
松尾 康民  
防衛研究所(副本部長)

池田 潤一郎  
幹部候補生学校(募集課)

森 さおり  
西部方面総監部(総務課)

原田 良司  
富士学校(援護課)

中川 成人  
えびの駐屯地業務隊(援護課)

谷山 昌弘  
西部方面総監部(募集課)

藤崎 翔大  
自衛隊栃木地方協力本部(募集課)

帆足 真彦  
西部方面総監部(総務課)

### 【転入者】

#### 自衛官

1等海佐 稲崎 精一郎  
本部長(海上幕僚監部)

1等陸尉 前川 昌平  
募集課(東部方面総監部)

1等海尉 濱崎 広志  
鹿屋地域事務所長(第1航空隊)

准陸尉 山中 一郎  
総務課(国分駐屯地業務隊)

陸曹長 堀田 講平  
募集課(第15高射特科連隊)

陸曹長 岡元 秀勝  
援護課(西後支308普通科直支中隊)

陸曹長 久木元 隆夫  
薩摩川内出張所(第8後支連第1整備大隊)

陸曹長 竜也  
国分駐屯地援護センター(体育学校)

海曹長 上笹貫 亨  
鹿児島地域援護センター(大村第2情報保全派遣隊)

海曹長 竹中 洋輔  
国分地域事務所(鹿児島音響測定所)

2等陸曹 中崎 章吾  
募集課(第12普通科連隊)

2等陸曹 野田 ゆかり  
国分駐屯地援護センター(習志野駐屯地業務隊)

2等空曹 小平 大介  
薩摩川内出張所(第5空団整備補給群整備隊)

3等海曹 木浦 千賀子  
鹿屋地域事務所(第1整備補給隊)

3等海曹 廣澤 大将  
知覧分駐所(第212教育航空隊)

【事務官】  
福山 和彦  
副本部長(海上自衛隊航空補給処)

細谷 孝行  
募集課(補給統制本部)

依坂 正浩  
総務課(相浦駐屯地業務隊)

高橋 博樹  
総務課(自衛隊広島地方協力本部)

橋本 恵利子  
援護課(奄美警備隊後方支援隊)

本田 めぐみ  
募集課(九州補給処大分弾薬支所)

### 【再任用】

内和田 不二夫  
鹿屋地域事務所  
丸田 浩  
総務課

【期間業務隊員】  
小平 恵理夏  
鹿屋地域事務所  
福山 大剛  
援護課

### 【定年退職】

2等陸佐 北園 和幸  
陸曹長 田中 賢二郎

【依願退職】  
2等陸尉 大町田 勇希  
1等陸曹 月野 希勇馬



鹿児島地本 HP



本部	電話番号
自衛隊鹿児島地方協力本部	099-253-8920(代表)

事務所名	電話番号
薩摩川内出張所	0996-22-2401
鹿屋地域事務所	0994-42-4386
国分地域事務所	0995-45-1836
大隅地域事務所	099-482-1405
鹿児島募集案内所	099-251-7802
知覧分駐所	0993-83-1811
奄美大島駐在員事務所	0997-53-9103
種子島駐在員事務所	0997-23-0299
徳之島駐在員事務所	0997-83-3080

鹿児島地本

お問い合わせ先



## 自衛隊みなと祭り (一般公開)



令和4年7月30日・31日 (9時～) 鹿児島本港北埠頭